

“送信終了後、直ちに接続を解除”機能について

1999.04.28

X-Plat - プリファレンス - 出力設定 - にある“送信終了後、直ちに接続を解除”機能について、説明いたします。

この機能をオン（チェックを付ける）にすると、RIPへ出力/データ転送が終了した時点で、FACILISとRIPの接続が早めに接続が解除でき、クライアント側の作業が早く進められるように見えますが、実際はそうではありません。

逆にこの機能をオンにしてしまうと、処理を中断させるエラー（interrupt）を発する場合がありますので、RIPに対して直接する場合は上記機能にチェックを入れない方法を推奨いたします。

“送信終了後、直ちに接続を解除”機能をオンにする必要があるRIP

相手のRIPがプリントサーバー（ファイルサーバー・OPIサーバー等）で、X-Plateから直接出力して、ダウンロードは成功しても接続解除時にエラーが返る場合

以上